



図書館だより 10月

四日市メリノール学院図書館

10月は、行事週間から始まりました。各学年で修養会しゅうようかいや奉仕作業ほうしさがきょう、中3の人たちは沖縄研修旅行おきなわけんじゅうりょと普段の学校生活では味わえないような経験や体験をし、多くのことを学んだことと思います。高2の人たちは、行事週間に学習した「沖縄」のことを来月の研修旅行に生かしてください。

少しずつ、通常つうじょうの生活リズムに戻りつつあるかと思いますが、高3年生の多くの方は入試に向けてこれから大詰めです。今月こんげつに入って、急に涼しさすずを通り越して肌寒い日こがあったり、体調を崩しがちくずです。体調管理とともに、入試に向けて図書館で新聞記事などのチェックも忘れずにしましょう。時事問題に関する「キーワード集」が図書館にありますし、「朝日けんさくくん」を使って気になるキーワードから関連記事を検索することもできます。是非ぜひ、活用してください。

<今月のおススメ本>

今回紹介する本は、ミステリー好きの人や弁護士など法律に関わる仕事きょうみに興味のある人にオススメの小説ほうていです。法廷ミステリーとタイムスリップという、一つで二つの面白さを味わうことができる作品です。著者は現役の弁護士です。法廷ミステリーほうていというと、法律用語や裁判のシステムなんかいの難解さのため、内容以前にうんざりして読むのをやめてしまう、ということもあります。しかし、そのあたりは、解説や例えたとが丁寧ていねいになされているので、内容が入ってきやすいと思います。かなり読みごたえのある作品てがるですので、お手軽に読める本を求める人には向いていないかもしれません。タイムスリップして過去の出来事を解明し『現在』に戻ると、修正された『現在』では違う展開が待っている。「過去の変化が現在にこんな影響を及ぼしていくんだ…」と驚き楽しむことができます。一度、挑戦してみてください。

げんこく
『幻告』

いがらし りつと
五十嵐 律人/著

講談社/刊